

令和元年度かいぼり結果概要報告【神代植物公園：水生植物園池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 12月21日

【天候】 曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア7人・関係者約30人

2. 結果概要

【水質】 かいぼり直後、COD、BOD、T-Pは減少しており、かいぼり後、COD、T-Pはかいぼり前より半減しています。泥土の除去や池干しにより栄養塩が減少したと考えられます。T-Nはかいぼり直後の値が一番高くなり、かいぼり後はかいぼり前よりも高い値となっています。かいぼり前よりもT-Nが増加した原因は、流入水の水質や池の環境による影響などが考えられます。SSはかいぼり前から約30%減少し、透視度はかいぼり前の高い状態を維持しています。

【水生生物】 重要種であるドジョウ、ミナミメダカ、スジエビは、かいぼり後も引き続き確認されています。一方で、特定外来生物に指定されているウシガエルが確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.13	R2.3.12	R2.8.3
天候		曇	晴	晴
気温	°C	31.5	17.0	34.0
水温	°C	23.1	17.8	28.5
透視度	cm	>50	>50	>50
ORP(酸化還元電位)	mV	+254	+378	+418
pH(水素イオン指数)		7.7	7.7	7.5
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	3.7	2.0	1.6
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	0.7	<0.5	<0.5
T-N(全窒素)	mg/L	3.04	5.08	4.76
T-P(全リン)	mg/L	0.038	0.019	0.013
DO(溶存酸素)	mg/L	10.3	10.6	13.6
SS(浮遊物質)	mg/L	10	3	3

捕獲した生物と個体数

和名	令和元年		令和2年度	重要種		外来種 注3
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) 注1	東京都RDB (2013) 注2	
	R1.7.24	R1.12.21	R2.7.31			
カワニナ属			3			
カワコザラガイ属			2			
モノアラガイ科			1			
サカマキガイ	2		3			○
オヨギミミズ科	1					
カワリヌマエビ属	411	5339	436			○
スジエビ		22	2		留意種	
アメリカザリガニ	62	899	114			○
モクスガニ		2			非分布	
コイ	4	6				○
モツゴ	16	90	15			
タモロコ	3	107	8			○
ドジョウ	4	39	5	NT		
ミナミメダカ	20	683	53	VU	CR+EN	
スミウキゴリ	1					
ニホンアカガエル		1			EN	
ウシガエル(成体)		6				○
ウシガエル(幼生)			28			○
シュレーゲルアオガエル(幼生)	40				VU	
クサガメ		1			(DD)	○
ニホンスッポン	1			DD	CR+EN	
ミシシippアカミミガメ	2		2			○

水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 レッドデータブック東京 2013
 ※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

